

こんにちは。

9月のアデレードは先月よりも暖かい日が多く、半袖の服を着て出かけることが多かったように感じます。しかし南オーストラリア州は「一日で四季を感じられる」と言われています。午前中は晴れてぽかぽかと暖かかったのに午後は大雨、という日も珍しくありません。ときには雹(ひょう)が降ることもあります。しばらくは暖かい日と肌寒い日が交互に訪れると思うので、体調管理に気を付けて元気に過ごしたいです。

9月はターム3の後半であり、それぞれの教科から課題が出ていたのでとても忙しい月となりました。しかし、ターム3から選択している歴史ではエッセイの課題でA評価をもらうことができたり、数学のテストではクラス最高得点をとることができたりと、英語で考えることに少しずつ慣れてきているのだと実感しました。周りの人の会話がほとんど聞き取れなかった最初のころと比べて、英語でのインプットとアウトプットをスムーズにできるようになってきました。

ターム末はさまざまな行事があり、その中でも興味深かったのはカジュアルデーとダンス発表会でのパフォーマンスです。

カジュアルデーは学校に私服で登校できる日のことです。普段は制服を着て登校しなければいけないのですが、カジュアルデーでは学校に1人1ドルずつ募金をする代わりに私服で登校することができ、募金によって集められたお金は慈善団体に寄付されます。募金活動はどうしてもお金を集めるのが難しかったり、募金しようと思っても忘れてしまったりしますが、カジュアルデーは生徒が私服での登校を許可される代わりに朝のホームグループで担任の先生に募金するシステムになっているのでお金を集めやすい気がします。また、カジュアルデーを通して生徒が募金に対してより積極的になれるのではないかと思います。

ダンスの発表会では、Year9からYear12の生徒たちがそれぞれ授業で行ったダンスの成果発表をしました。私の学年であるYear10は、“scary”をテーマとしたダンスを20人で練習していました。一人の生徒が子供の役になり、他の生徒がモンスターとなってその子供を脅かす、というダンスで、先生と生徒でアイデアを出し合いながら振付を完成させたので、それを披露することができて楽しかったです。新型コロナウイルスの影響で、今年度は無観客での発表会だったため、お客さんの反応を直接感じることはできなかったのですが、後から動画を見てみて、今までで一番良いパフォーマンスができた実感しました。

帰国まで残り2か月を切りましたが、この先楽しみな予定がまだまだたくさんあります。この期間でいかに充実した生活を送れるかは私の行動次第なので、新しいことややったことのないことに躊躇せずに挑戦し続けたいです。